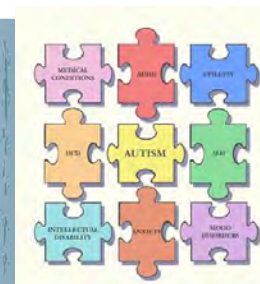
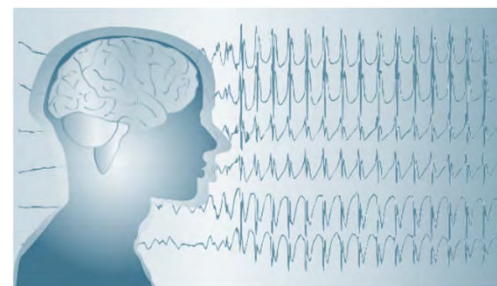


国立精神・神経医療研究センター総合てんかんセンター公開講座  
2024年 7月28日（日）

# てんかん市民公開講座

## ～全国てんかん地域診療支援整備事業の現況～

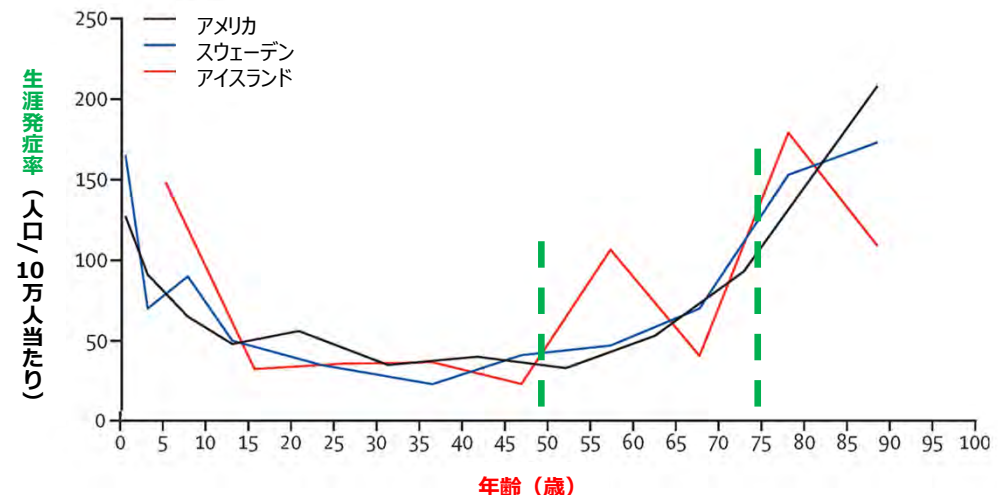
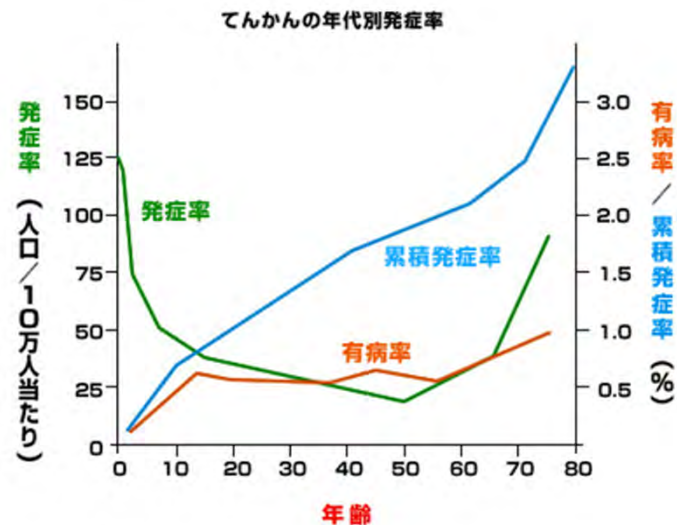
国立精神・神経医療研究センター（NCNP）病院  
てんかん診療部、総合てんかんセンター  
中川栄二



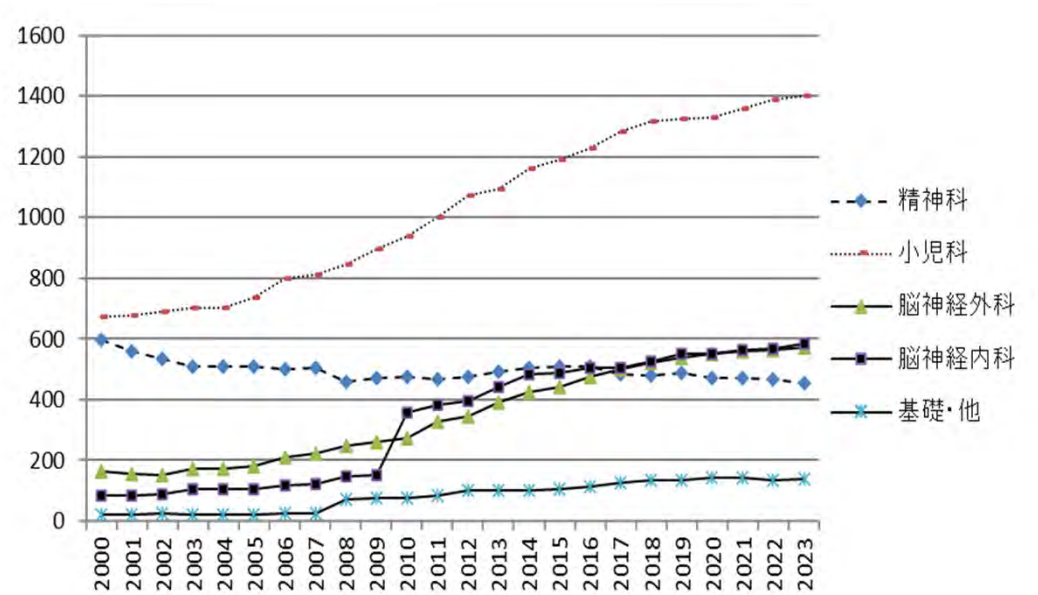
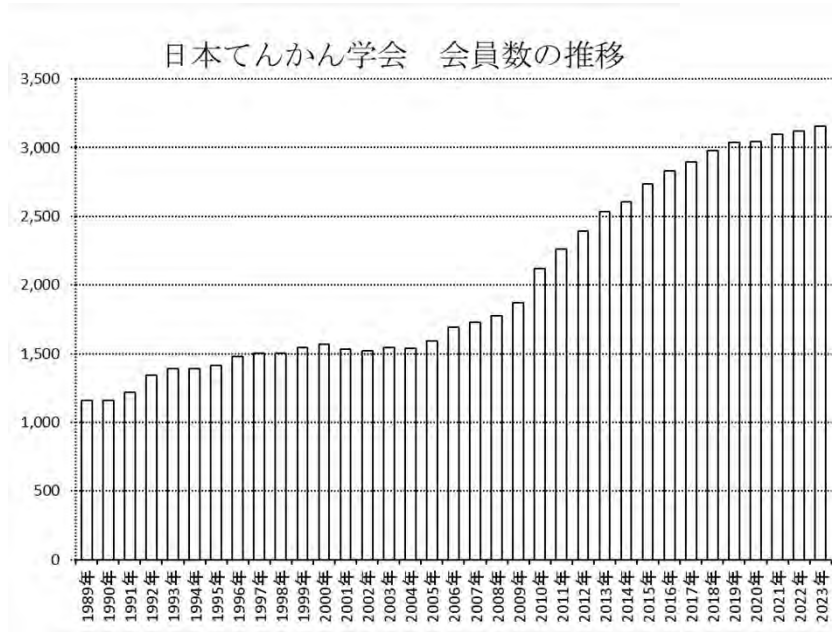
# てんかん患者数、増加傾向か減少傾向か？

- てんかんは、小児から高齢者まで、どの年齢でも誰でもが発症する可能性がある患者数の多い病気（**0.8～1%：本邦約100万人**）
- 特に**高齢者の発症率は高く**、高齢者人口の増加しているわが国では、今後更にてんかん医療の必要性が増加する
- てんかん患者の7～8割は適切な内科的・外科的治療により発作が抑制され、日常生活や就労を含む社会生活を営むことが可能である
- わが国では**成人てんかんを診る専門医**が不足している
- **てんかんに対する知識不足と偏見**から、患者の社会進出が妨げられている

- てんかんの発症率は最年少および最年長の年齢層で最も高い。
- 発症率は50歳以降着実に増加し、75歳以上の人の発症率が最も高くなる



# 日本てんかん学会 会員数・専門医数の変化



会員の専門割合 2023年9月1日現在

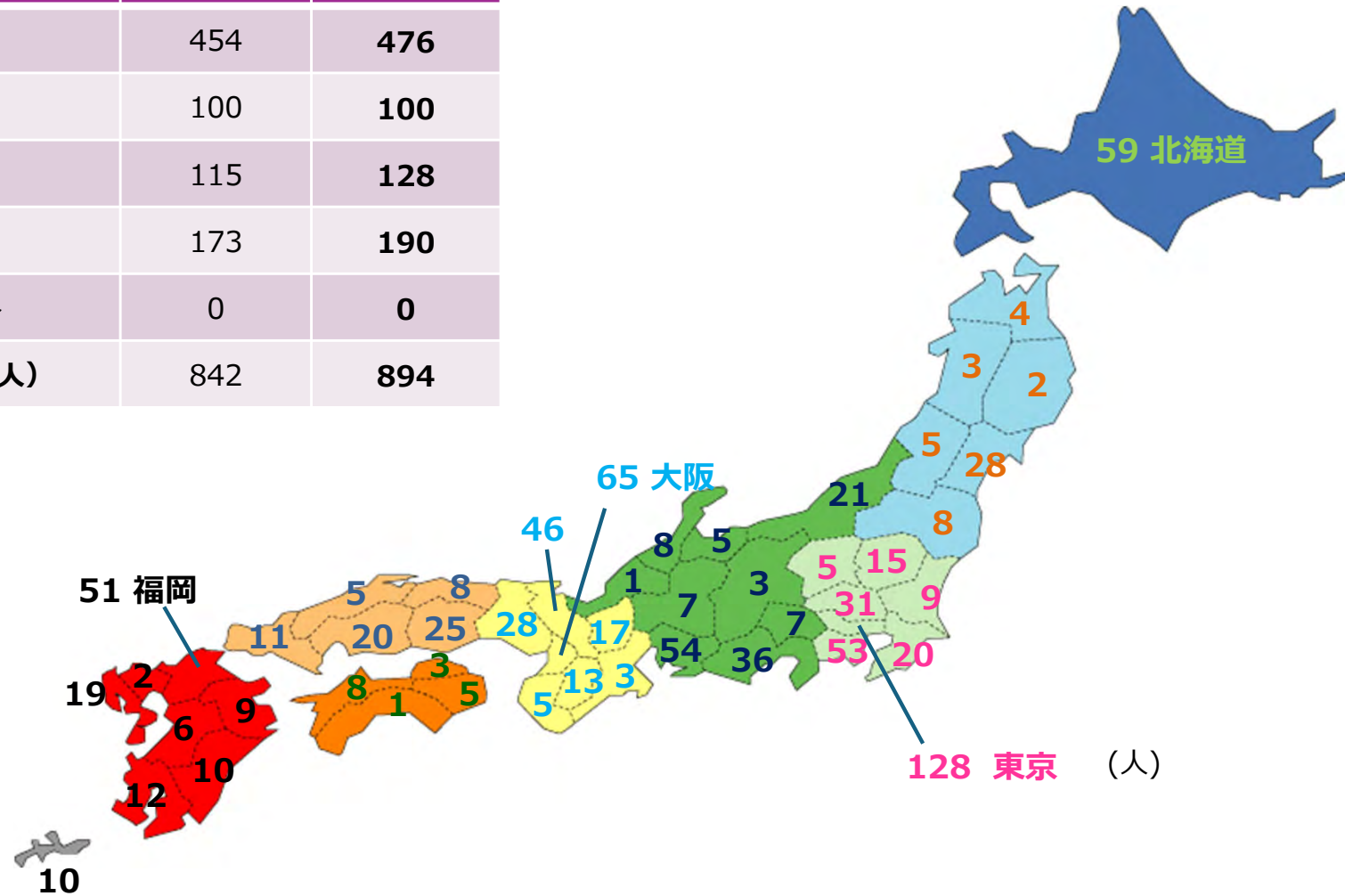
	2022.9	2023.9
小児科	1388	<b>1400</b>
精神科	468	<b>458</b>
脳神経内科	566	<b>585</b>
脳神経外科	563	<b>573</b>
基礎・医師以外	136	<b>140</b>
合計	3121	<b>3156</b> (人)

てんかん専門医の専門割合 2023年10月1日現在

	2022.9	2023.10
小児科	454	<b>476</b>
精神科	100	<b>100</b>
脳神経内科	115	<b>128</b>
脳神経外科	173	<b>190</b>
基礎・医師以外	0	<b>0</b> (人)
合計	842	<b>894</b>

# てんかん学会専門医の地域分布

	2022.9	2023.10
小児科	454	476
精神科	100	100
脳神経内科	115	128
脳神経外科	173	190
基礎・医師以外	0	0
合計 (人)	842	894



# てんかん地域診療連携体制整備事業

てんかん患者が、地域において適切な支援を受けられるよう、てんかん診療における地域連携の在り方を提示し、てんかん拠点医療機関間のネットワーク強化により全国で均一なてんかん診療を行える体制を整備。

## 現状と課題

平成30年度からの第7次医療計画により、各都道府県において、多様な精神疾患等に対応できる医療連携体制の構築に向けて、「良質かつ適切な精神障害者に対する医療の提供を確保するための指針」を踏まえて、多様な精神疾患等ごとに医療機能を明確化することとされており、国が国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センターをてんかん全国支援センターに指定し、都道府県において、てんかんの治療を専門に行っている医療機関のうち、1か所をてんかん支援拠点病院として指定し、各都道府県のてんかんの医療連携体制の構築に向けて、知見の集積やてんかん診療のネットワーク作り等を引き続き進めていく必要がある。

### 地域

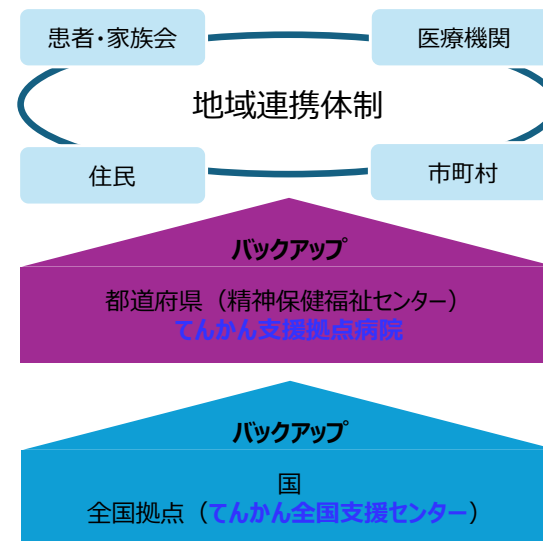
てんかんの特性や支援方法に関する知識が浸透するように取り組むとともに、市町村、医療機関等との連携を深化し、患者・家族への相談支援や啓発のための体制を充実すること等により、適切な医療につながる地域の実現を目指す。

### 都道府県（精神保健福祉センター、保健所）・てんかん支援拠点病院

第7次医療計画に基づいて、「都道府県拠点機能」「地域連携拠点機能」「地域精神科医療提供機能」を有する医療機関を指定し、都道府県との協働によって、てんかんに関する知識の普及啓発、てんかん患者及びその家族への相談支援及び治療、他医療機関への助言・指導、医療従事者等に対する研修、関係機関との地域連携支援体制の構築のための協議会を開催する。また、てんかん診療支援コーディネーターを配置し、てんかん患者及びその家族に対し、相談援助を適切に実施する。

### 国・全国拠点（てんかん全国支援センター）

各てんかん診療拠点機関で得られた知見を集積し、てんかん診療における地域連携体制モデルを確立すると共に、都道府県・各診療拠点機関への技術的支援を行う。

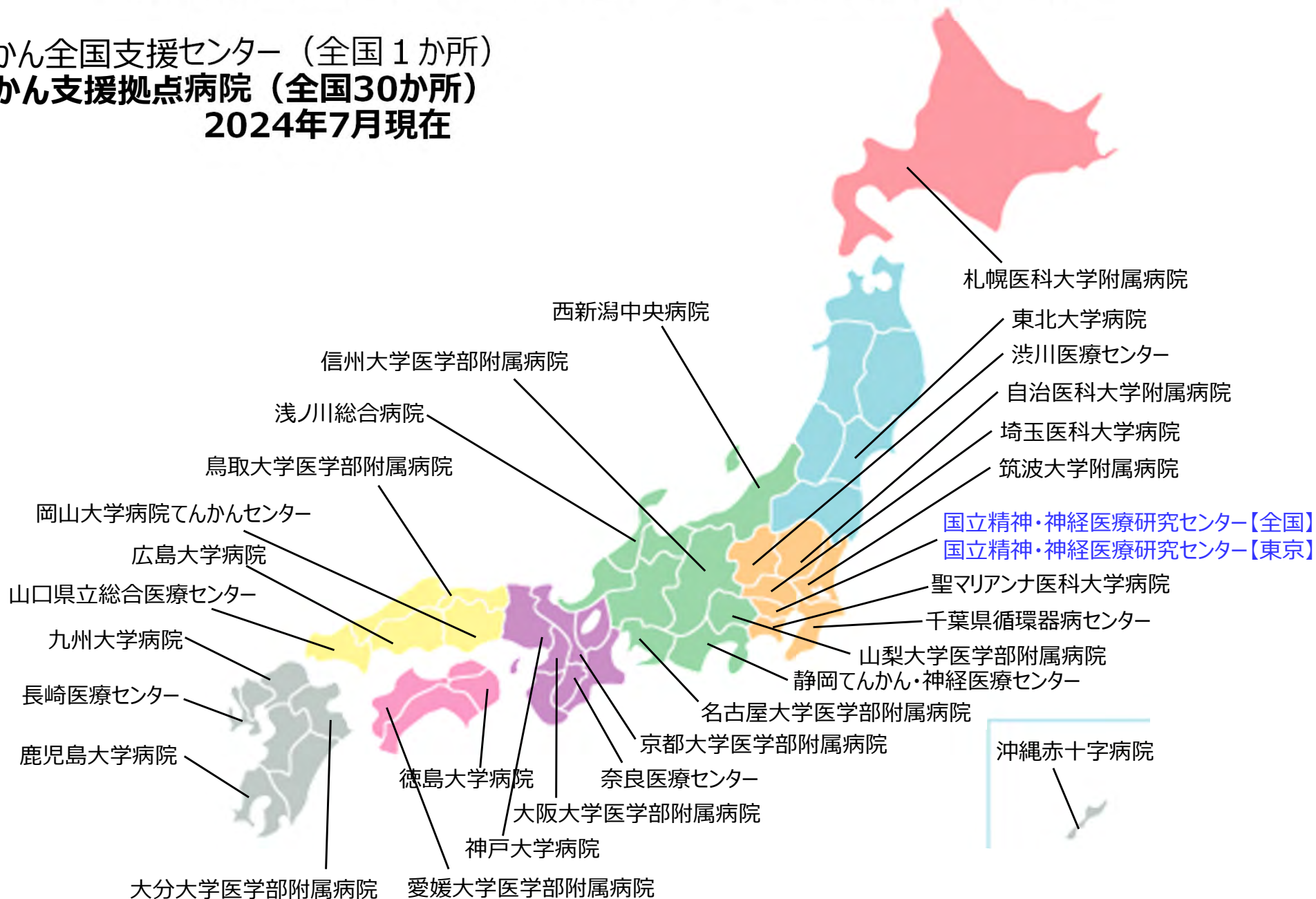


## 期待される成果

1. 地域住民や医療従事者に対して、てんかんに関する正しい知識の普及
2. てんかん診療における地域連携体制構築、てんかん診療の均てん化

# てんかん全国支援センター及びてんかん支援拠点病院

てんかん全国支援センター（全国1か所）  
てんかん支援拠点病院（全国30か所）  
2024年7月現在





# てんかん全国支援センター

国立精神・神経医療研究センター病院総合てんかんセンターは、  
てんかん診療における地域連携体制モデルの確立を行うことを  
目的とした「てんかん全国支援センター」に指定されています。

てんかん地域診療  
連携体制整備事業について

てんかん支援  
拠点病院のご案内

てんかん全国  
支援センターについて

てんかん診療支援  
コーディネーター認定制度

活動報告

事業報告

関係機関へのリンク

当センターでは、てんかん治療や相談支援、普及活動などのほか、全国支援センターとして、各支援拠点病院から集積したデータの分析・評価、地域連携や支援体制のモデルの研究・開発、全国てんかん対策連絡協議会の設置などを行なっています。

てんかん全国支援センターのURLが新しくなりました。

URL : <https://epilepsy-center.ncnp.go.jp>

※今後は上記URLにてご覧ください。

てんかん診療支援コーディネーター認定制度

Epilepsy Support Network JAPAN

てんかん支援ネットワーク

[詳細はこちら▶](#)

総合てんかんセンター

てんかんについて

## 新着情報

[一覧](#)

24.06.12 2024年度第1回てんかん診療支援コーディネーター研修会 10時～  
全国てんかん対策連絡協議会15時～ 開催します  
(開催日：2024年7月21日(日) ZOOMウェビナー形式 申込〆切日：7月19日(金))

# 全国てんかん診療ネットワーク

てんかん  
支援  
ネットワーク

MENU

ホーム

一般の方へ/  
ご家族の方へ

てんかん診療に  
関わっている方へ

てんかん支援  
ネットワーク施設一覧

## てんかん 支援 ネットワーク

Epilepsy  
Support Network  
JAPAN



このサイトはてんかんの地域診療連携の推進を目的として

厚生労働省・都道府県およびてんかん学会・てんかん協会・全国てんかんセンター協議会の支援を下に

てんかん地域診療連携体制整備事業により運営されています。

お知らせ

Information

一覧へ >

2023/09/26

施設一覧を更新しました

>

2023/08/28

施設一覧を更新しました

>

2023/08/04

施設一覧を更新しました

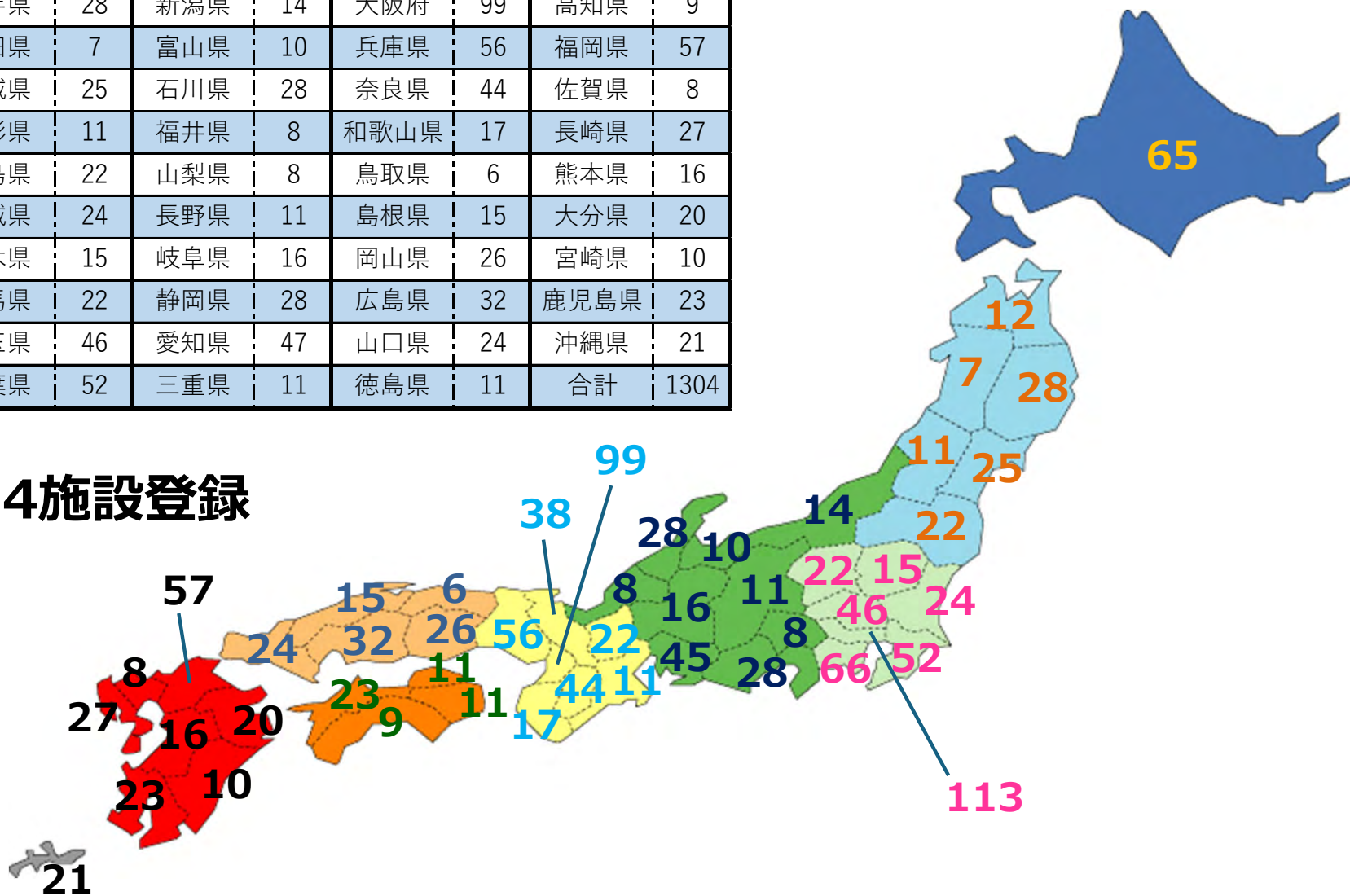
>



# てんかん支援ネットワーク 都道府県別登録施設数

北海道	65	東京都	113	滋賀県	22	香川県	11
青森県	12	神奈川県	66	京都府	38	愛媛県	23
岩手県	28	新潟県	14	大阪府	99	高知県	9
秋田県	7	富山県	10	兵庫県	56	福岡県	57
宮城県	25	石川県	28	奈良県	44	佐賀県	8
山形県	11	福井県	8	和歌山県	17	長崎県	27
福島県	22	山梨県	8	鳥取県	6	熊本県	16
茨城県	24	長野県	11	島根県	15	大分県	20
栃木県	15	岐阜県	16	岡山県	26	宮崎県	10
群馬県	22	静岡県	28	広島県	32	鹿児島県	23
埼玉県	46	愛知県	47	山口県	24	沖縄県	21
千葉県	52	三重県	11	徳島県	11	合計	1304

1,554施設登録



2023年12月5日現在

# てんかん遠隔医療：オンライン診療の推進

## てんかんPHRを用いた遠隔診療



## てんかんPHRと連動し オンライン診療に最適なシステムを考える

1. オンライン診療

2. オンライン服薬指導

3. お薬の発送



### nana-mediの機能

#### 事前問診機能 (診察準備)

患者・ご家族様の発作・体調の状況を、簡易問診で確認できる



#### PHR画面共有

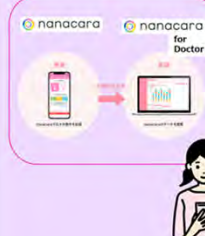
発作記録画面を共有しながら診察でき、遠隔でも情報の多い診療が可能



## 3省2ガイドライン準拠 てんかんオンライン診療ツール

nana-medi®  
ナックオンザドア株式会社

### てんかんPHRと連動



### 事前問診機能

前回受診からの発作回数は？	1回
前回受診からの発作抑制満足度は？	まずまず
内服率は？	90%
頓服の利用回数は？	0回
副作用発生状況	なし
前回受診からの体調は？	良い

### 画面共有・チャット書き込み

資料を共有したり、書き込んだり遠隔でも情報の多い診療が可能



導入、運用費用 無料 (医療機関、医師、薬局)

## 情報通信機器として、てんかん発作記録アプリを使用



てんかん専用PHR スマートフォンアプリ“nanacara”  
(2020.3リリース、約17000DL、PHRと情報通信機器の機能)

### nana-medi を用いたオンライン診療の様子

※画面左側のモニターでビデオチャット、右側のモニターが電子カルテです。





nanacaraについて



# nanacaraの遠隔診療

てんかん特化オンライン診療ツール



61回/月

大阪市立  
総合医療  
センター

国立精神・  
神経医療  
研究センター

2024年  
稼働開始予定

A地域  
大学病院  
てんかん  
センター

B地域  
大学病院  
てんかん  
センター



# 東京都 てんかん支援拠点病院

国立精神・神経医療研究センターは、国のてんかん地域  
診療連携体制整備事業に基づき、東京都から  
「てんかん支援拠点病院」の指定を受けています。  
患者さんやそのご家族への相談支援、他の医療機関や  
関係機関との連携、医療従事者等への教育や地域の皆様への  
普及啓発活動などの取組を行っています。



事業概要



てんかんに関するご相談はこちら





# てんかんに関する相談

事業概要



東京都てんかん治療  
医療連携協議会



てんかんと  
その診療について



てんかんに関する相談



活動報告



## てんかんのご相談について

てんかんをもつご本人、ご家族、一般および医療関係者から、てんかんの診療と支援についてのご相談を受けています。相談には、下にあるフォームをご利用ください。

### ご注意

- 個々人の医療については、診察や検査結果等がないとお答えできないことがあります。このフォームでのご相談へは一般的な回答となりますことをご了解ください。
- インターネットを介するため、プライバシーの保全が十分ではないことにご留意ください。
- 回答まで数日間を要します。2週間以上経っても返信がない場合は、送受信に何らかの障害があったこと等が考えられますので、再度フォームからご連絡ください。

## フォーム